

信仰を深める秘訣 ～アブラハムに学ぶ～

●はじめに

キリスト教のだいご味の一つは、生い立ち、性別、年代、時代、地域、民族を超えてどのような人であったとしても“信じる”事を通して、素晴らしい神の恵みを体験できる事にある。聖書では“信仰”の父、“信じる”事の代表的な存在としてアブラハムを挙げている。神と神の約束に対する“信仰”を通して、アブラハムは数々の恵みを体験したが、特筆すべきは高齢になっていたにも関わらず、神の約束どおりに子供を授かった事である。

しかし、そうはいってもアブラハムも人としての限界を知り、何度も神の約束を疑う事もあった。しかし、神はアブラハムが“信じる”事ができるように、導かれた。私達も、信じる事ができる者となる秘訣を共に学ぼう。

●本日の聖書箇所 ・創世記 15 章 1～6 節(現代訳)

001:それから、主は幻の中でアブラムに現れ、こう仰せられた。|「アブラム。恐れることはない。わたしはあなたを守ってあげよう。あなたは豊かに恵みを受ける。」002:アブラムはこの主の御言葉に驚いて、こう申し上げた。「主である神様。私には子供がおりません。それで、私の家の後継ぎは、ダマスコのエリエゼルと決めております。それなのに、あなた様は何を下さろうとおっしゃるのですか。」003:アブラムはまた言った。「あなた様は私に子供をお与えくさいませんので、私は、私の家に生れたしもべを後継ぎにしようとしております。」004:すると、主はこう仰せられた。「その男が後継ぎになるのではない。あなたの実子が後継ぎになる。」005:そして、主は彼を外へ連れ出して、仰せられた。「天を仰いで、この星を数えることができるものなら、数えてみなさい。」さらに続けてこう仰せられた。「とても数えきれものではない。ちょうどあのよう、あなたの子孫は多くなる。」006:アブラムは主を信じた。すると、主はアブラムの信仰を受け入れられた。

◆本日の説教のポイント

①信仰が深められる為に、神の約束を“可視化”しよう

アブラハムは 75 歳の時に、神の言葉を信じて信仰の旅をスタートした。何才であったとしても、神を信じて歩み出すなら、神は驚くべき恵みを与えて下さるのである。アブラハムに与えられた約束の 1 つは、アブラハムに子供が与えられ、やがてその子孫を通して地上のすべての民族は祝福を得るという約束であった。しかし、アブラハム夫妻も実子を持つ事は人間的には不可能である事を認めざるを得なかった。そこで、別の者を後継ぎにしようと考えていた。それに対して神は、アブラハム夫妻に実子を与える事を約束された。しかし、とても信じる事ができないアブラハムを外に連れ出して星を数えさせた。神の約束が実現する事を、星を見させる事によって具体的にイメージさせたのである。その事を通して、アブラハムは神の約束を信じる事ができた。

神の約束に対する信仰が深められる為の方法の一つは、神の約束が実現する事を心の中で思い描いて見続ける事である。また、目に見える形にして、身近においておく事である。

誰でも、神の約束を“信じる”事を通して、素晴らしい神の恵みを体験する事ができる。私達は信仰が深められる為に、神の約束が実現する事を絶えず心に描き、目に見える形にしよう。

●参考 アブラハムの影響

a) イスラエル民族の始祖 イスラエルの人口は、2010 年度現在、743 万人

b) キリスト教・・・信仰の父と呼ばれる

2006 年現在、アブラハムの子孫であるイエスキリストを旧約聖書で約束された救い主として信じる者は、約 21 億人とされる。

c) ユダヤ教、キリスト教、イスラム教

ユダヤ教では系譜上の祖、イスラム教では五大預言者の一人とされ尊敬されている。2006 年現在、3つの宗教の信者数は約 34 億人と推計されている。(うちキリスト教約 21 億人、イスラム教約 13 億人、ユダヤ教約 1500 万人)